

# 施工取扱説明書

PWM 調光器 4 回路用

品番：PWM-504

特徴 .....	2
△警告 .....	2
各部位の名称 .....	3
施工・結線方法 .....	4
本器の固定方法 .....	4
端子台への結線・離線 方法 .....	5
DMX ケーブル .....	5
結線方法 .....	6
各種設定方法 .....	7
アドレスの設定 .....	7
下限の設定（オフセットの設定） .....	8
作業灯の設定 .....	9
仕様 .....	10
外形図 .....	11

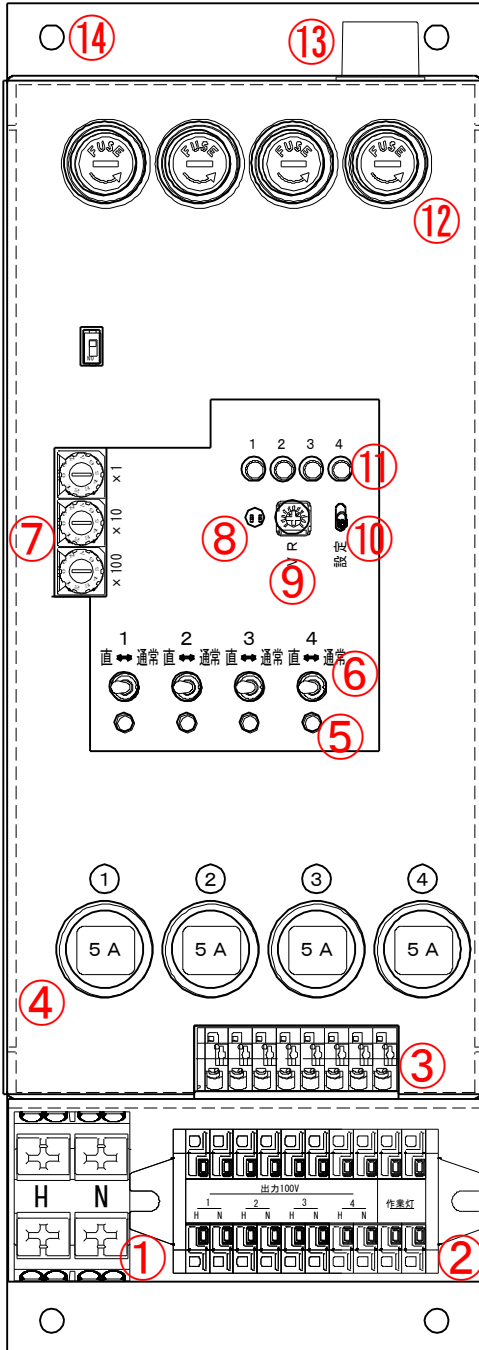
## 特徴

- 500W の LED または蛍光灯（共に PWM 制御用）が 4 回路まで調光可能
- DMX 制御
- 単線、より線ともに圧着不要で結線可能
- ワンボタンで各種設定

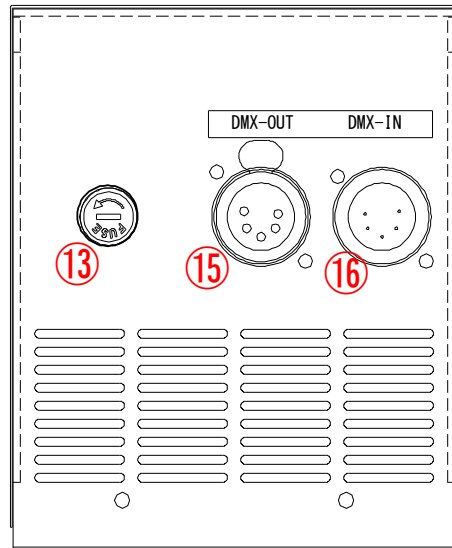
## △警告

- 必ず本器を平面にビスで確実に固定してから作業してください（落下や火災、感電の恐れ）
- 必ず電源を切ってから作業して下さい（火災や感電の恐れ）
- 適合電線を使用し、端子台の奥まで確実に差し込んでください（火災や感電の恐れ）
- 最大負荷容量以下でご使用ください（火災や破損の恐れ）
- 誤結線や短絡に注意してください（火災や感電の恐れ）（調光器内部の半導体の破損の恐れ）
- 分解、修理、改造等を行わないでください
- 屋内で使用してください
- 直射日光のあたるところや発熱する器具の近くでは使用しないでください
- 灯具には PWM 調光用のものをご利用下さい（※IL 調光の灯具はご利用いただけません。）

# 各部位の名称



- ① AC100V 入力端子台
- ② 100V 出力端子台
- ③ 信号出力端子台
- ④ 100V 出力プロテクタ  
(サーキットプロテクタ 5A)
- ⑤ 出力確認 LED
- ⑥ 直—通常 切替スイッチ
- ⑦ アドレスセットロータリースイッチ
- ⑧ 確認 LED  
(赤:電源 ON、青点滅:DMX 入力あり)
- ⑨ 手動調光ボリューム
- ⑩ 通常時—設定時切替スイッチ
- ⑪ 設定ボタン
- ⑫ 信号出力保護ヒューズ(0.5A)
- ⑬ AC100V 入力保護ヒューズ(3A)
- ⑭ 取付穴 (φ5×4)
- ⑮ DMX-OUT 端子
- ⑯ DMX-IN 端子

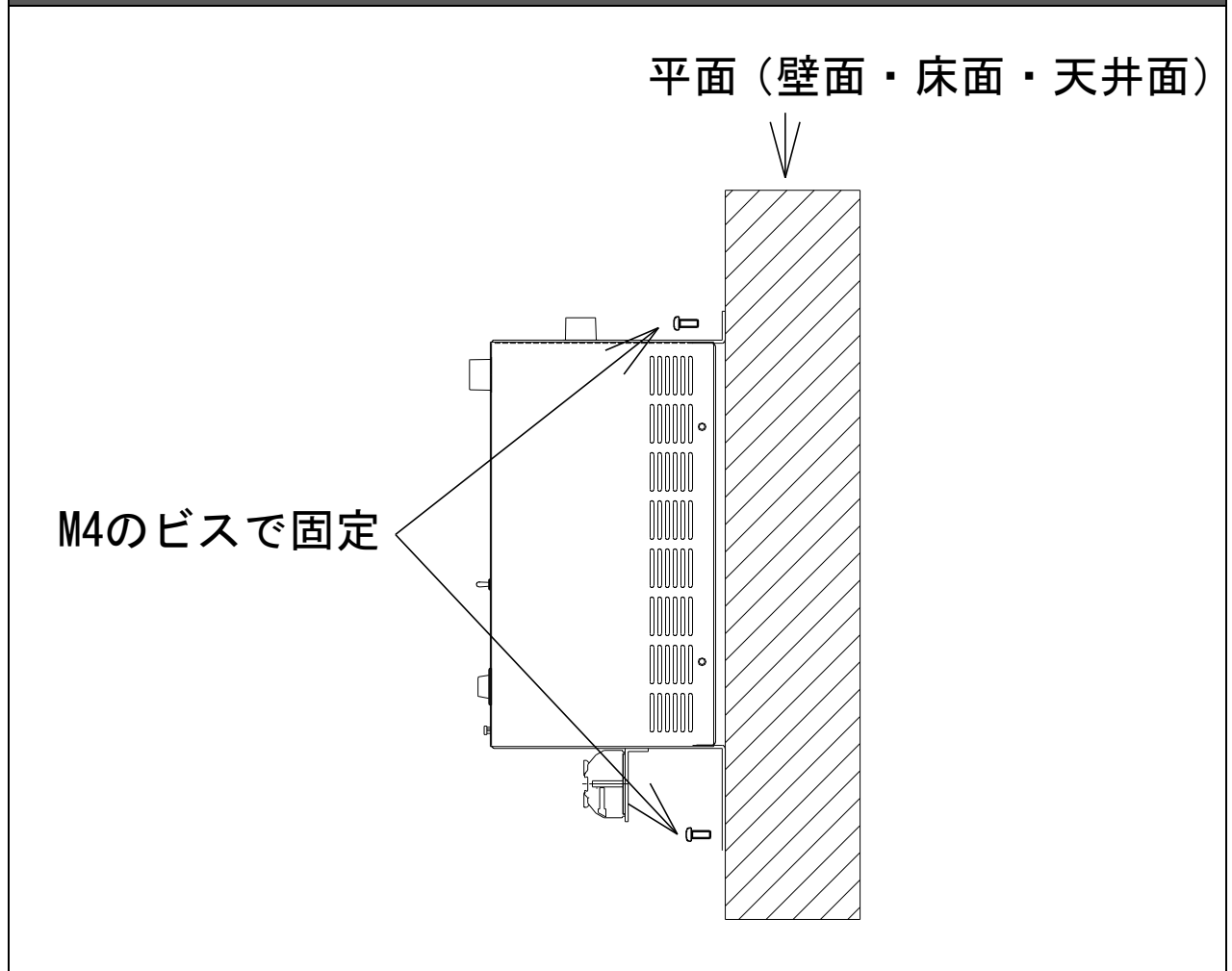


## 施工・結線方法

### △注意

- 本器の固定には M4 のビスで平面にしっかりと固定して下さい。
- AC100V 入力 of 電線は  $\phi 2.0$  の銅線を使用して下さい

### 本器の固定方法



## 端子台への結線・離線 方法

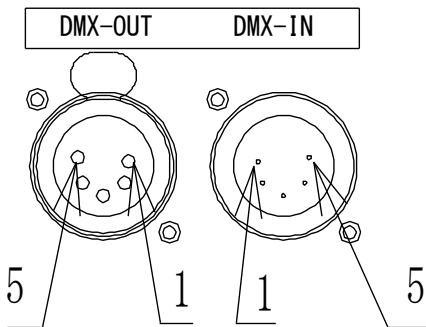
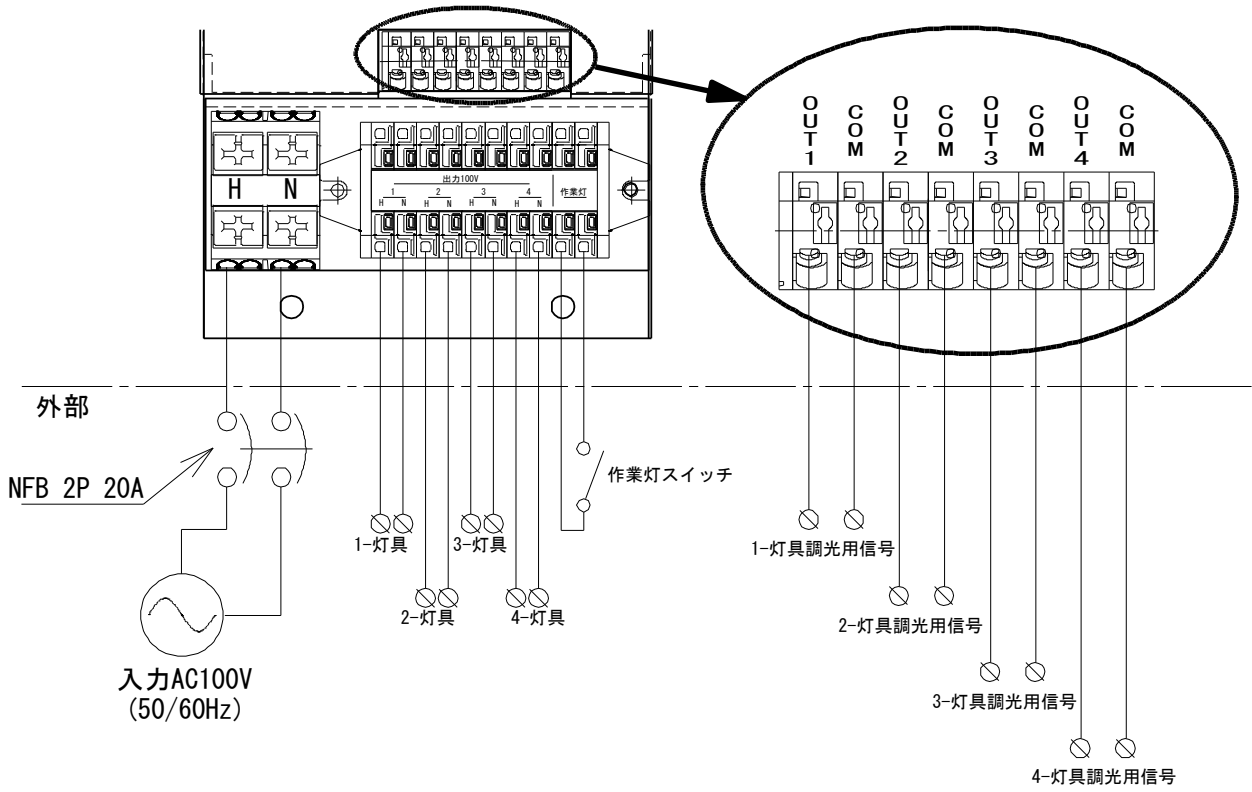
結線方法	AC100V 入力端子台	電線を 10mmむき出し、突き当りまで差し込む
	100V 出力端子台	//
	信号出力端子台	//
離線方法	AC100V 入力端子台	プラスドライバまたはマイナスイボで操作ボタンを押しながら電線を引き抜く
	100V 出力端子台	マイナスイボで操作ボタンを押しながら電線を引き抜く
	信号出力端子台	//

## DMX ケーブル

適合ケーブル	LAN Cat.5e 以上
DMX-IN 推奨プラグ	ITT キヤノン XLR5-11C (5pin)
DMX-OUT 推奨プラグ	ITT キヤノン XLR5-12C (5pin)

# 結線方法

結線方法は、下図の基本的な結線図をご参照下さい。



PIN 番号	詳細
1	COM
2	DMX -
3	DMX +
4~5	/

# 各種設定方法

## アドレスの設定

1～4チャンネルのそれぞれに任意のDMXアドレスを設定することができます。

ここでは本器2チャンネル目にDMXアドレスを“123”に設定する方法を例に説明します。

1. 図1の⑩の設定スイッチを図2の方向に倒す



図2

2. 図1の⑦のロータリースイッチを図3のように“123”に設定する

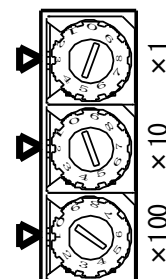


図3

3. 図1の⑪の設定ボタンの“2”を押下する（これで本器2チャンネル目にDMXアドレス“123”が書き込まれる）

4. 図1の⑩の設定スイッチを元に戻す

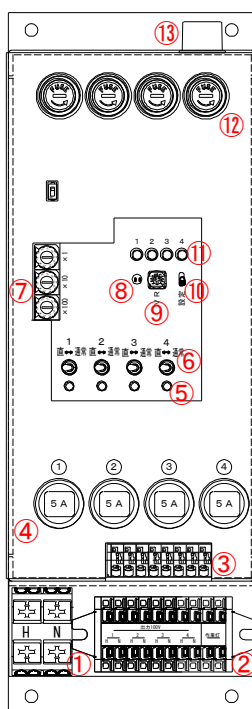


図1

## 下限の設定（オフセットの設定）

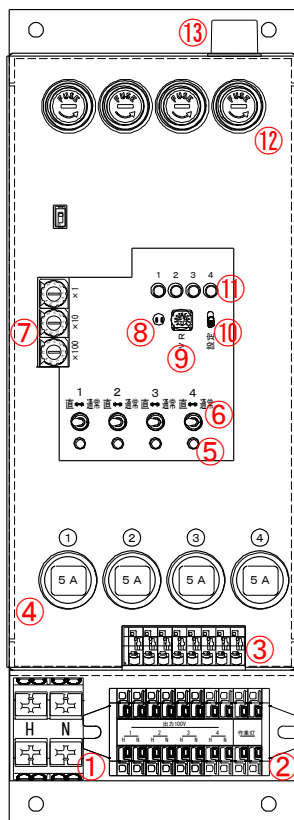


図 1

PWM出力値の下限値を変更する際に使用します。

例えば、1つの操作で複数個の照明器具を制御するとき、器具の個体差によって点灯するタイミングがバラバラになることがあります。

そのタイミングを揃えるときなどに有効です。

またLEDを調光する際のチラツキをなくすためにも使えます。

この調整はDMX信号を用いて行います。DMX送信機をご用意下さい。

各調整の方法は以下の通りです。

### 新規設定方法

1. DMX送信機から本器にDMX信号を送る
2. 図1の⑧の穴から、青色LEDが点滅していることを確認する
3. 複数個の灯具の点灯のタイミングが揃う（あるいは、灯具のチラツキなくなるタイミング）までDMX送信器のフェーダ（ボリュームまたは数値）を上げる
4. 図1の⑪の調整したいチャンネルのボタンを押下する。
5. DMX送信器を操作して、灯具の点灯のタイミングが揃うか（チラツキがなくなるか）確認する

### 修正方法

1. DMX信号を本器に送り、図1の⑧の青色LEDの点滅を確認
2. DMX送信機で修正したいチャンネルのDMX信号を“0（フェーダやボリュームを絞る）”にして、図1の⑪のボタンを押下し、リセットする
3. **新規設定方法** に従って再度調整する



# 作業灯の設定

本器の任意のチャンネルを任意の明るさで作業灯として使用することができます。

## 設定方法

1. 図1の⑧の穴から青色LEDが点滅していないことを確認する（DMX信号を受信していないこと）
2. 作業灯スイッチをオンにする（図2）

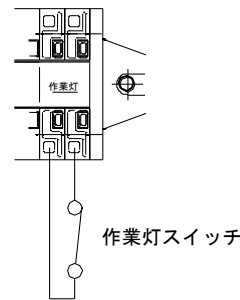
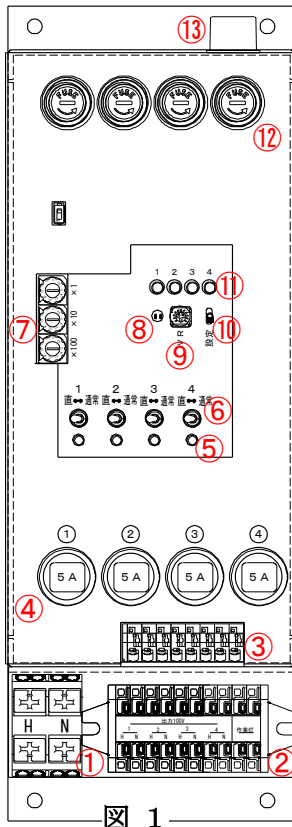


図 2

3. 図1の⑪の作業灯にしたいチャンネルのボタンを押下する（複数チャンネル同時設定も可）
4. 図1の⑨のボリュームを左右に回して作業灯にしたい灯具の明るさを調整する（作業灯解除の際は⑨のボリュームを左いっぱい回して灯具を消灯して下さい）
5. 図1の⑪の作業灯にしたいチャンネルのボタンを押下する（3. で複数チャンネルのボタンを押下した場合は、それぞれのチャンネルごとに灯具の明るさを確認しながら⑪のボタンを押下して下さい）
6. 図1の⑨のボリュームを左いっぱい回す。
7. 作業灯スイッチをON-OFFさせて、作業灯の確認をする

## 仕様

品番	PWM-504
定格電圧	交流 100V
定格周波数	50/60Hz
最大負荷容量	500W / 1回路
入力調光信号	DMX512
適合負荷	PWM 調光用 LED、PWM 調光用蛍光灯（4線式蛍光灯） （△注意：位相制御調光、調光非対応の負荷はご使用になれません）
外形寸法	別途記載
材質	鉄 1.6t
塗装色	N-3.0 半艶

# 外形图

